
新約女神異聞録～ペルソナ～

アカツキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新約女神異聞録〜ペルソナ〜

【Nコード】

N4359A

【作者名】

アカツキ

【あらすじ】

普通の高校生高野哲也。夢の中でフィレモンと名乗る仮面の男と出会い、ペルソナという力を手にした。そのかわり、普通の生活が無くなっていった…

第0話：夢と現実の狭間で…（前書き）

読んでくれたら幸いです！（ 〓 ^ ^ 〓 ）
ではどうぞ！！

第0話：夢と現実の狭間で…

僕は変な夢を見た…

『ようこそ、夢と現実の狭間へ。私はフィレモン・・・さて、君の名前は？』

仮面を被った男が俺に聞いてきた。

俺は高野 哲也 だたの高校生だ。

『よろしい、この世界で自分の名前を言える者は少ない。それでは本題に入ろう・・・』

すると、仮面の男の手に青い玉があった。すると自分の方へと飛んできた。

『それは君の中にある無数の仮面の一つ【ペルソナ】君の力になってくれる』青い玉は自分の中へと入っていった。

『それでは、また会うおう・・・』

すると仮面の男は暗闇へ消えていった・・・
そこで俺は目が覚めた。

「変な夢みたな・・・げっ！」

時計に目をやると遅刻ギリギリの時間だった。

「やばっ！」

ベッドから急いで起きて制服に着替え始めた。

また、いつもの一日が始まる・・・はずだった。

あの夢を見てから俺の世界が変わった。

第1話：いつもの一日

「だあゝ！！母さん何で起こしてくれなかったの！？・・・あれ？」
高校生が朝から一人で騒いでいた。彼は高野 哲也 高校2年生だ。
いたって普通の高校生だ。

「・・・そうかゝ母さんは父さんの所に行ったんだっけ。」

そんなことを言いながら寢癖をなおしていた。

哲也の親は、単身赴任中の父さんが心配だからとゆう理由で母さんは父さんの所へ行ってしまった。

そんなことを考えていると

ピンポン！！！！

チャイムが鳴った。

「ゲッ！・・・もうそんな時間かよ！」

時計を見ると7時50分になっていた。

「おい！ちよつと待っててくれ！」

すると外から二人の男女の声がした。

「早くしろよー！遅刻するぞ！」

「そうだよ！早く行こうよ！」

二人が叫び終わるとドアがバンツ！と音をたてて開いた。

「悪い！寝坊した！」

ネクタイを結んでいる途中の哲也が出てきた。

「寝坊はみんな同じだ！早くしないと遅刻するぞ！」

この男は佐々木 龍一 哲也と同じ高校2年生。1年の時にこの町に引っ越してきた。

「はあゝ・・・私が寝坊なんてするなんて・・・」

こっちの女は紅山 真美 同じく高校2年生。哲也とは幼なじみ。
性格は曲がった事が大嫌いな女の子である。

「龍一が遅刻するのは当たり前だが真美が遅刻なんて珍しいな？」
哲也が笑いながら二人に言った。

「私だつて遅刻したくてしたんじゃないよ！変な夢見て・・・」
真美の顔が暗くなった。

「そんなことはどうでもいい！先に行くからな！」
と、龍一は走り出した。

「ちよつと！待ちなさいよ！・・・哲也早くしなさい！」

「ちよつと待て！靴ひもが・・・うつ！」

いきなり、哲也が苦しみだし、心臓の音が大きくなっていった。ドツクン！ドツクン！ドツクン！『汝は我・・・我は汝・・・我は汝の無数の仮面の一つなり・・・』

誰かの声が聞こえた。しかし、哲也は誰の声なのかわからなかった。

「哲也！ちよつと大丈夫？急に苦しみだして？」

真美の声で我にかえると、痛みが無くなっている事に気がついた。

「・・・多分、大丈夫だ」

「本当に大丈夫？顔色悪いよ？」

すると、遠くから龍一が大声を出した。

「おい！！本当に遅刻するぞ！！？」

哲也は時計を見ると、本当にヤバい時間だった。

「ゲッ！真美行くぞ！」

「ちよつと！待ってよー！」

二人は走り出した。いつもの一日が始まる・・・はずだった。

同時刻

コンピューター会社

ゼロノ 社長室

「・・・はい、大丈夫です。準備は出来ました。・・・はい、あとは起動させれば・・・はい、それでは失礼します。」

白いスーツ姿の男が電話を終えた。

「これで、私は神になれる・・・神になれるんだ！！！」

スーツの男は狂ったように笑い出した。すると、ドアが開き女性が

入って来た。

「神山社長・・・悪魔召喚システムの準備が出来たそうです。」

「ああ・・・わかった、それじゃあ行こうか。」

二人は社長室にあるエレベーターに乗り地下へ行ってしまった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4359a/>

新約女神異聞録～ペルソナ～

2010年10月10日13時06分発行